



見物びんご  
常日物會はる

赤披

一 浙客操方益法操操純つらとれ粉をききおのり後後回冬  
 粉焼後後定出法をいふ人名に後後りあを粉突出ー粉屋もち  
 る肉つぎ羽二重まんぢう格別風味よありき成るら座敷もち  
 たいこのあまをたふさ実仕りの質夜をうけて水あぐくは来智  
 の禮を粉上りの梅條りかきとせり上られゆる梅法  
 焼せせしにらるる金りちみりちり身もちせらるー女もち  
 りちり焼のちれりた出来身生残降つぎきゆるわわらりと  
 むわらるる来取くはるこびの粉依るき粉上り

突出ー粉屋もち 登夜 三分

肉法き羽二重まんぢう 好み次第

座敷もちる靴もち 百疋



出張 仮定書 老乱屋新造  
 本家 老乱屋新造  
 出張 仮定書 老乱屋新造  
 沙茶山の箱花川産町